

壊れゆく“若者たち”

File.64 デジタル症候群 ～セブン-イレブンID不正決済で
気づくべきこと

文 石井 通明 text by Michiaki Ishii

7月より開始されたセブン-イレブンのID決済ですが、不正に決済され利用者に被害が及んだことで話題になりました。この時、セブン-イレブンの管理体制やセキュリティが大きく問題視され、責任問題となりました。

このニュースで注目すべきことは、この首謀者が中国籍の人物であったという事です。日本のシステムの脆弱性を見抜き、日本の資産を搾取しようとする脅威に気がつくべきであると感じます。

アメリカのCIAのような諜報機関を持たない日本は、世界的なサイバー犯罪の標的になりやすく、海外の専門家からは「日本でのサイバー犯罪はノースト」と評価されてしまっているそうです。先般ニュースになったビットコインの流出事件も北朝鮮からのハッキングを受けたという報道もありました。国境を越えてくるサイバー攻撃により日本の資産が世界中に流出していると言っても過言ではないのです。

日本人はお気楽なものです。「セブン-イレブンが問題！責任者は？どう謝罪するのか？」責任を問うのも結構ですが、いろいろとモノを申している人たちに、特に被害にも遭っていないのに



Profile
東京都大田区生まれ。
英国ウエールズ大学 MBA (経営管理修士)。
日本交渉学会会員。ハーバード流交渉学・消費者行動心理学・コンフリクトマネジメントを研究。日本コールセンター協会情報調査委員。
株式会社クロス取締役 COO。
長年コールセンター運営に携わり、人とのコミュニケーションについての研究を進めている。思いやりのコールセンターを展開。
becca1103-6420-2088
<http://www.beall.jp/>

ただ苦言を呈している人が大勢います。あれば駄目だ、これがけしからん、この“苦言だけ人種”が非常に多いのです。それが故に、責任がどこという話で問題解決と定義され、本当の真実が有耶無耶になり風化します。

日本の資産が危ないのです。無知な人たちはどんどん資産を海外に奪われています。日本は借金国で、国内の資産が奪われたら、海外と取引をするものが無くなります。海外との取引材料がなくなってしまうのは、他の国とは優位に話ができません。そして日本は後進世代が目減りしており人口減傾向。移民は受け入れないというのも“苦言だけ人種”が大半を占めています。目減りした若年世代は意見を言う気力を奪われ、先祖が残した資産を奪われ、これでもまだ美しい国日本と言いつつ続けられるのでしょうか。

“苦言だけ人種”は迫りくる国際的なITのセキュリティの脅威を心底理解していません。これまで築き上げてきた日本が持つ資産が、国内ではなく海外に奪われているという脅威に気づくべきです。もしかしたら、もう手遅れかもしれません。

